

J-PEAKSを通じた 広島大学の人材戦略

—若手・女性研究者の育成強化策について—

広島大学 大学院統合生命科学研究科

島田 昌之

J-PEAKSを通じた人材戦略

【重点取組：若手トップ研究者の確保と養成】

全学一元化人事制度

各専門領域の特性を反映した評価基準と指標に基づき、人事配置を実施。研究力、教育力、**国際性**、外部資金獲得力の向上がみられる

全学の新規採用に対するテニユアトラック制

若手研究者の高いモチベーションが維持されている

若手研究者及び女性研究者の育成強化を目指した「SPARK! Plan」

次世代をリードする若手のトップ研究者（40歳以下）の研究時間確保、処遇の改善及び国内外での活躍を促進を促し、知の創出に貢献する組織強化を推進

1. 教員人事の全学一元管理

「学術院」の設置

社会から必要とされる領域や未来に向けて大学が取り組むべき領域へ人員を適切に配置することができることを目指し、**2016年4月**に全学を一元化した教員組織として設置

「国立大学経営改革促進事業」で「S」評価

教員人事の全学一元管理や、本学独自のパフォーマンスモニタリング指標であるAKPI®やBKPI®の開発・活用など、全国に先駆けた大学改革の取組が、「地方大学のグローバル展開と教育研究両面での、地方総合大学と立地都市・自治体との連携のあり方のモデル」や「地域国立大学として、

グローバル拠点の特徴を堅持しながら地域貢献を両立する稀有なケースの一つ」と評価を受ける

2. グローバル化に向けた国際戦略の推進

『広島大学国際戦略2022』で掲げる教育の基本方針

① グローバル人財を育成する一貫教育の確立

学生の海外派遣留学と留学生受入れの充実

② カリキュラムの国際標準化

日本人学生と留学生が共同で学習できる「Internationalization at Home」の環境を整備

③ 留学生のための日本語・日本文化教育の充実

世界の舞台で活躍するグローバル人財の育成と中四国地域の日本語・日本文化教育の拠点化を目指す

④ 平和を希求する国際的教養人の育成

平和を希求し、他者を理解し、知識と行動力を持つ、国際社会に羽ばたく人財の育成を目指す

⑤ SDGsの達成を目指す人財育成

学生一人ひとりがSDGsを達成するために、主体的に考え、行動する力を身につけ、世界の、地域のあらゆる場面で活躍できるようになることを目指す

3. キャリアスタート段階の研究者育成制度

➤「広島大学教員メンター制度」導入以前

従来、広島大学では、女性研究者養成システム改革加速事業や若手研究者の自立的な研究環境整備促進事業、科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業等において、女性教員やテニュアトラック教員を対象にメンター制度を実施

➤2020年4月：「広島大学教員メンター制度」を導入

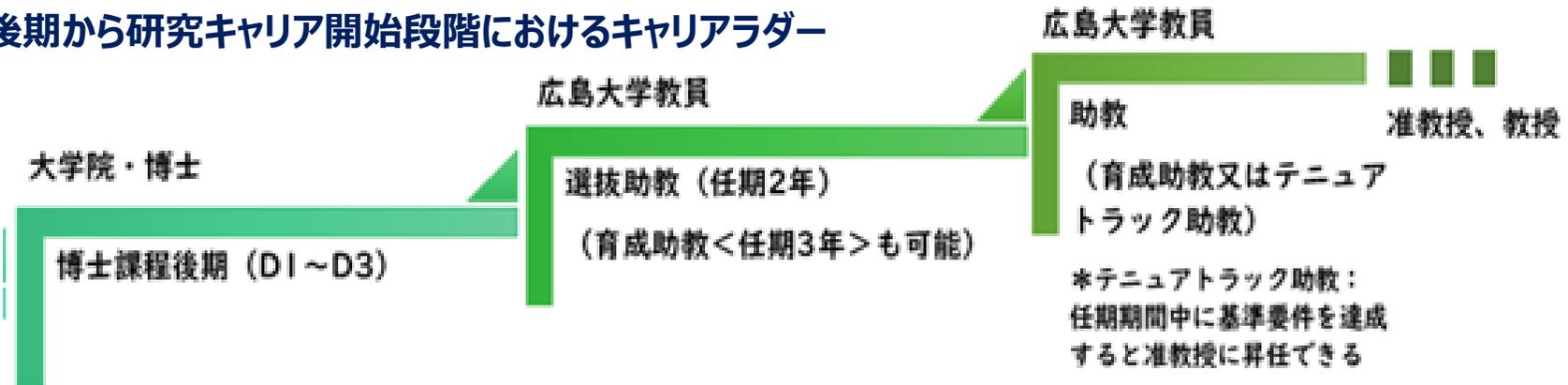
「本学教員の職位や雇用形態に関わらず、新たに採用されるすべての教員に助言者や相談相手となるメンターを配置することで、着任後の教員を孤立させず適切な支援を行い、教育・研究・管理運営等の諸活動をスムーズにスタートさせることを目的」

➤テニュアトラック助教の前段階における研究者育成システム

「**選抜助教**」（任期2年）、「**育成助教**」（任期3年）として制度化

（出典）『広島大学教員メンター制度ハンドブック』

博士課程後期から研究キャリア開始段階におけるキャリアラダー



4.広島大学「SPARK! Plan」

SPARK! Plan

大学入学前から、研究者としてのキャリアを形成していくための、さまざまなサポート（研究環境整備、研究活動支援、キャリア形成支援、進路選択支援、経済支援、雇用支援、仕事と家庭の両立支援等）を提供。学生自身の将来の道筋を見通せるよう、体系的に支援制度を示すことを目的。広島大学の研究者育成に関する取組を包括した名称

「SPARK」は取組を連想させるワード「Smile・Pave・Advise・Rally・Kindle」の頭文字を取って構成

S…Smile (スマイル): 学生を, アカデミアを, 広島大学が「笑顔にする」

P…Pave (ペイヴ): 大学院生・研究者への道を「整備する」

A…Advise (アドバイス): 大学院・研究者を志す者へ「アドバイスする」

R…Rally (ラリー): 広島大学の支援・制度・アイデアを「結集する」

K…Kindle (キンドル): 研究に対する興味と情熱を「かき立てる」

広島大学「SPARK! Plan」 for Women

大学入学前から、研究者としてのキャリアを構築するまでの間、適宜サポートを実施										★: for women の 取組
高校生	学部生	修士課程 (M1~2)	博士課程 (D1~3)	ポストク (特別研究員等)	選抜助教 (任期2年)	育成助教 (任期3年)	助教 (テニュアトラック教員)	准教授	教授	
研究職の魅力発信、進路選択支援		経済支援		雇用支援	研究環境整備、研究活動支援、キャリア形成支援、仕事と家庭の両立支援					
★体験科学講座		○研究者としてのキャリアマネジメントを学ぶ講義		○学内保育園の利用対象						
	○「大学院進学を考える」ガイダンス(保護者向け有)(予定)	★女性研究者とのオンライン交流会		○両立支援事業(研究支援員、学童保育、病後児保育利用料補助など)の対象						
		★指導教員に加え女性研究者をメンター教員として配備		○若手教員等交流会						
				★女性研究者交流会、研究者と理事との意見交換会						
★理工学系学部の女性限定入試枠(令和8年度入学を計画中)		★CAPWR: 女性科学技術フェローシップ制度「理工学系女性M2奨学生」への支援 (M2) ・研究専念支援経費(生活費相当額)	★CAPWR: 女性科学技術フェローシップ制度「理工学系女性リサーチフェロー」への支援 (D1~D3) ・研究専念支援経費(生活費相当額) ・研究費	○JSPS特別研究員(PD,RPD,CPD(海外派遣))を本学で雇用(予定) ・育成環境の整備	○育成計画に基づく指導		○学内昇任制度(★女性枠あり)			
		★CAPWR: Micron Awards広島大学マイクロン科学技術奨励金(M女性学生) ・生活費相当額	○大学院リサーチフェローシップ制度 ・研究専念支援金 ・研究費 ・授業料免除	○メンター教員2名配置						
CAPWR :Career Advancement Project for Women Researchersの取り組み			○創発的次世代研究者育成・支援プログラム ・研究専念支援金 ・研究費	★女性研究者奨励賞(研究費の助成)						
		○JSPS特別研究員(DC1/DC2)申請支援		○新任のテニュアトラック助教:スタートアップ経費						
				○HIRAKU-Global育成対象教員を選抜:スタートアップ研究費や中長期海外派遣経費の支援など						
				○広島大学若手教員海外派遣プログラムHU-global Tobu!						

HIRAKU-Global教員

2019年度、広島大学（代表機関）、山口大学、徳島大学、愛媛大学（共同実施機関）は、文部科学省「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」に採択され、中国四国地方を中心とするエリアにおいて、「地方協奏による世界トップクラスの研究者育成」コンソーシアム（HIRAKU-Global）を形成し、国際的なコミュニティの中で、創造性豊かな研究を先導し、影響とインパクトを与える研究者を育成するためのプログラム（HIRAKU-Globalプログラム）を推進している。

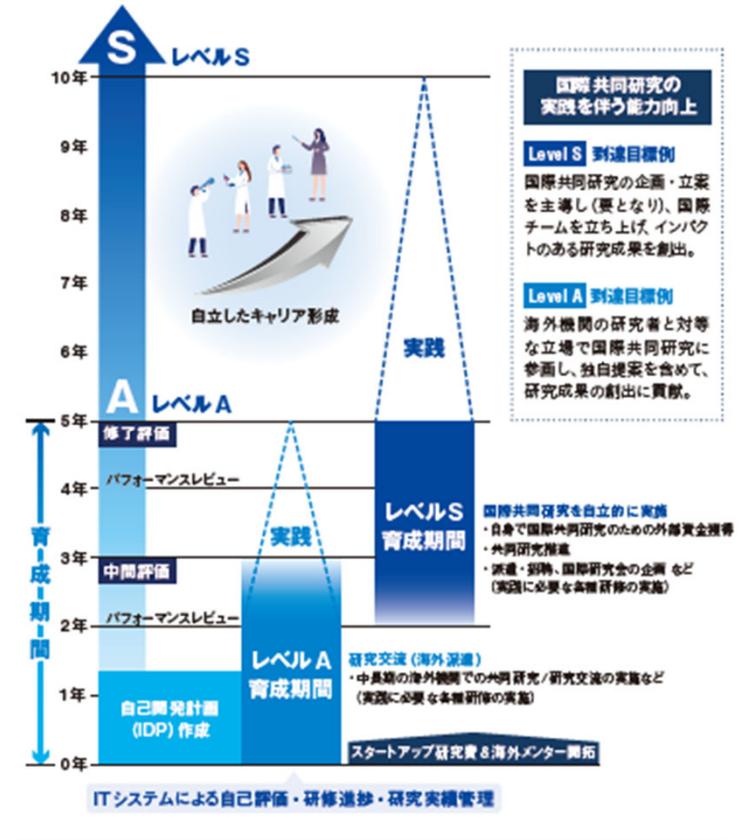
HIRAKU-Globalプログラムでは、代表機関・共同実施機関において新規に採用、あるいは在籍する多様なテニュアトラック教員から複数の育成対象者を選抜し、若手研究者が国際共同研究を強力に推進するための支援（スタートアップ研究資金・研究交流制度・複数メンターによる支援・URAによる支援）を行っている。

HGR	2020' 1st Cohort	2021' 2nd Cohort	2022' 3rd Cohort	2023' 4th Cohort	2024' 5th Cohort	Total
F	1	4	3	0	2	10
M	6	4	3	6	4	23
Total	7	8	6	6	6	33

3割は女性研究者を採択

研究者育成プログラムにおける能力開発プロセス

5年、10年後の最終的な目標が明確になるように、適切な支援を行います。



6. 若手研究者全般を 対象としたその他の 独自支援プログラム

◆創発的次世代研究者育成・支援プログラム

【目的】 科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の実施機関に採択されたことに伴い、博士課程後期学生が安心して研究に集中できる環境を整え、将来の日本の科学技術・イノベーションの基盤となり、国際社会の持続的な発展に貢献できる博士人材の育成を推進する

【応募資格】：下記をいずれも満たす者

支援開始時に広島大学の大学院博士課程後期又は4年制の博士課程に在学している者

支援を開始する年の1月～12月の収入が240万円以上となることが見込まれない者

支援開始時に、日本学術振興会の特別研究員、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生、母国からの奨学金等の支援を受ける留学生ではないこと。

支援開始時に、他の奨学金等との併給が不可とされる地方公共団体・民間団体等の奨学金を受けている者または申請中の者でないこと。

【支援金額】：

研究専念支援金（生活費相当額）：入学から最大3年間（4年生課程の場合は4年間）、月額19万円（原則）

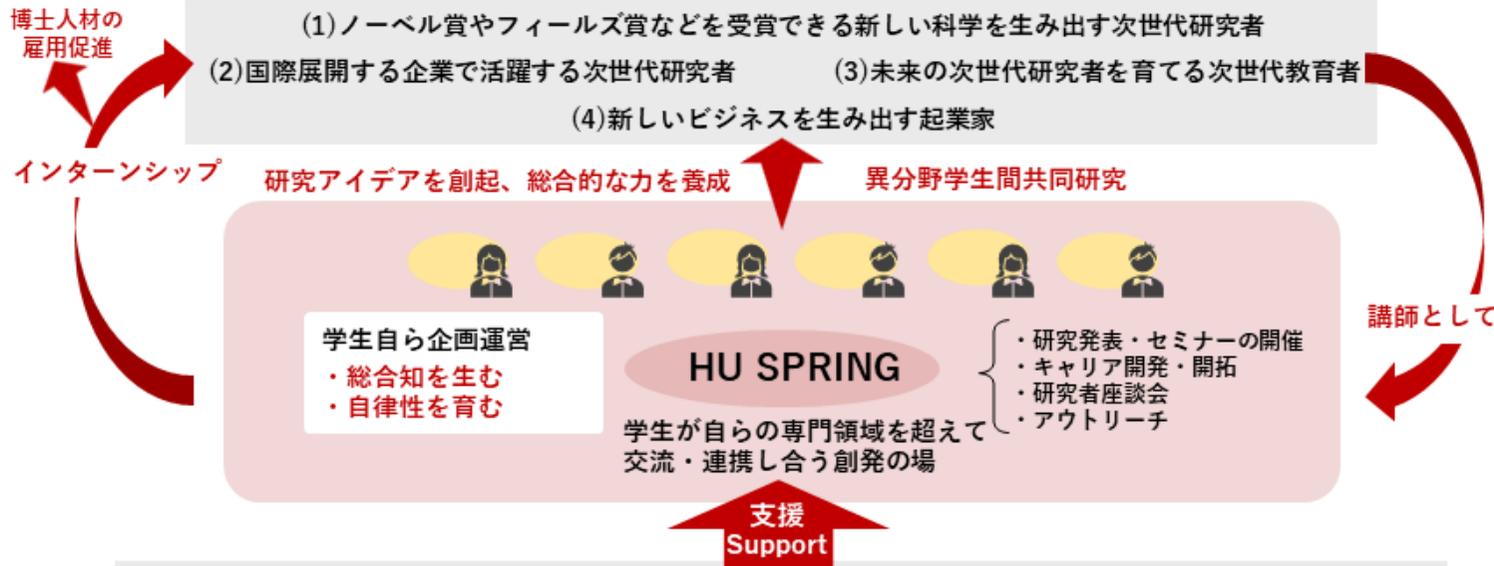
研究費：入学から3年（4年生課程の場合は4年）を上限として、年額40万円以内

・採択件数：15名程度（2024年10月支援開始分）、80名程度（2025年4月支援開始分）

※R3年度：199人支援

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム

我が国が目指す未来社会（Society 5.0）の実現に貢献する、科学技術・イノベーション創出を支える人材の育成



広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム

(コンテンツの一例)



若手研究者ポートフォリオの提供



フェロー同士の交流機会を提供



未来博士3分間コンペティション



研究留学支援プログラムの提供



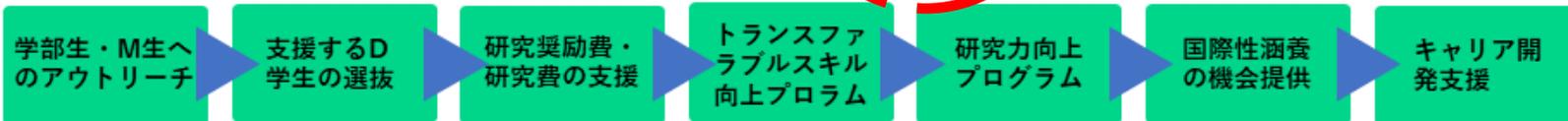
フェロー同士の共同研究を支援



日本語・英語教育を提供

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラムで包括的に取組みを推進

(入口)
Dを目指す学生増



(出口)
就職率向上

大学院生支援プロジェクト
広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)
広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト
女性科学技術フェローシップ制度
HU SPRING
> 支援コンテンツ
> HU SPRING Award
フェローの義務
よくある質問 (FAQ)
採択フェロー一覧

[English >](#)

支援コンテンツ

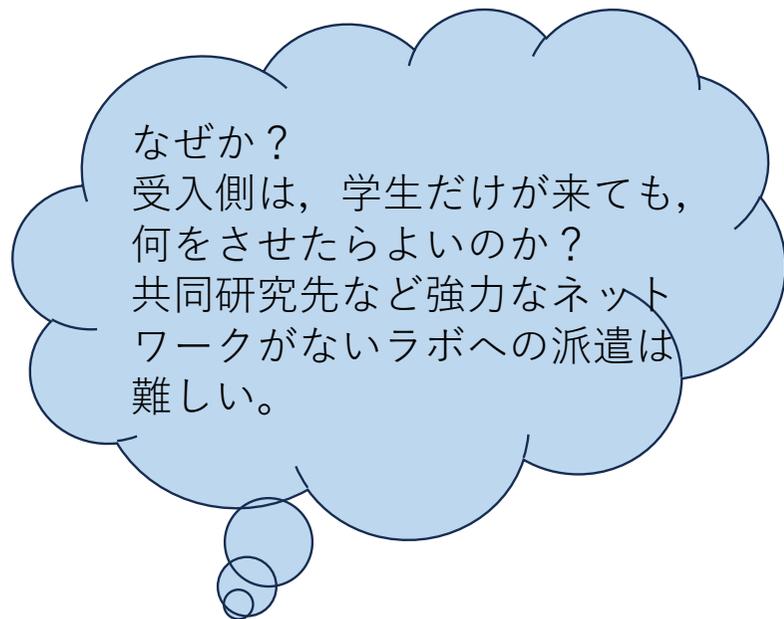
* HU SPRINGの支援コンテンツについては、広島大学オンライン学習支援システム(Moodle)を通じて案内しますので、必ず定期的にMoodleの該当コースの確認をしてください。

フェロー間交流

- **3QUESTIONS(旧HU SPRING 100人論文)**
3QUESTIONSは、次世代フェロー等が「ポスター掲載者」となり、自身の研究についての3つの設問(研究紹介、他の研究者とコラボしたいこと、参加者に聞きたいこと)への回答と、自身の研究内容を分かりやすく伝える画像によるポスターを掲示し、参加者が回答内容やポスターに自由にコメントを付箋で貼付するものです。本イベントを通じて、研究の発展や課題解決などの可能性が広がることを期待しています。
* [2024年度3QUESTIONS開催報告](#)
- **未来博士3分間コンペティション**
未来博士3分間コンペティションは、博士課程後期学生が3分間の限られた時間内に自身の研究のビジョンと魅力を分かりやすく伝えるスピーチ大会です。大会を通して、自身のコミュニケーション力やアピール力の向上を図るとともに、社会における博士人材と博士研究に対する理解を広めることを目的としています。
* [未来博士3分間コンペティション公式サイト](#)

活動支援プログラム

- **研究支援プログラム**
次世代フェロー等が、自主的に研究チームを構成し、学際的な研究を実施するための研究費を助成するプログラムです。本プログラムに参加することにより、次世代フェロー等が自立した研究者として成長することを期待しています。
【2024年度募集】
・助成件数: 10件程度
・助成金額: 1件あたり 100万円程度
・応募締切: **2024年11月15日(金) 正午 (日本時間)**
・ [HU SPRING研究支援プログラム令和6年度募集について](#)
- **世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム**
次世代フェロー等が、国内外のトップレベルの研究機関において、学外の優れた研究者とともに一定期間研究を行うことを支援するプログラムです。
【2024年度募集】
* **第1回(募集は終了しました)**
・採用予定数: 20件程度
・助成金額: 1件あたり 上限100万円程度
・ [世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム令和6年度第1回募集要項](#)
- **留学生向け日本語教育プログラム**
留学生フェローの日本語能力を向上させるプログラムを提供することにより、日本企業に就職しやすくなるよう支援を行い、キャリアパスの選択肢を広げることを目的としたプログラムです。また、在学中に一定程度の日本語能力を有することで、母国に帰国した場合も日本との橋渡し役を果たすことも期待しています。



しかし、日本人学生の応募者は少ない

- **世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム**
次世代フェロー等が、国内外のトップレベルの研究機関において、学外の優れた研究者とともに一定期間研究を行うことを支援するプログラムです。

【2024年度募集】
* **第1回(募集は終了しました)**
・採用予定数: 20件程度
・助成金額: 1件あたり 上限100万円程度
・ [世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム令和6年度第1回募集要項](#)

大学院生支援プロジェクト

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)

広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト

女性科学技術フェローシップ制度

HU SPRING

> 支援コンテンツ

> HU SPRING Award

フェローの義務

よくある質問 (FAQ)

採択フェロー一覧

関連する取組

若手研究人材養成

HIRAKU

SPARKIPLAN

過去の取組

支援コンテンツ

* HU SPRINGの支援コンテンツについては、広島大学オンライン学習支援システム(Moodle)を通じて案内しますので、必ず定期的にMoodleの該当コースの確認をしてください。

フェロー間交流

● 3QUESTIONS(旧HU SPRING 100人論文)

3QUESTIONSは、次世代フェロー等が「ポスター掲載者」となり、自身の研究についての3つの設問(研究紹介、他の研究者とコラボしたいこと、参加者に聞きたいこと)への回答と、自身の研究内容を分かりやすく伝える画像によるポスターを掲示し、参加者が回答内容やポスターに自由にコメントを付箋で貼付するものです。本イベントを通じて、研究の発展や課題解決などの可能性が広がることを期待しています。

* [2024年度3QUESTIONS開催報告](#)

● 未来博士3分間コンペティション

未来博士3分間コンペティションは、博士課程後期学生が3分間の限られた時間内に自身の研究のビジョンと魅力を分かりやすく伝えるスピーチ大会です。大会を通して、自身のコミュニケーション力やアピール力の向上を図るとともに、社会における博士人材と博士研究に対する理解を広めることを目的としています。

* [未来博士3分間コンペティション公式サイト](#)

活動支援プログラム

● 研究支援プログラム

次世代フェロー等が、自主的に研究チームを構成し、学際的な研究を実施するための研究費を助成するプログラムです。本プログラムに参加することにより、次世代フェロー等が自立した研究者として成長することを期待しています。

【2024年度募集】

- ・ 助成件数: 10件程度
- ・ 助成金額: 1件あたり 100万円程度
- ・ 応募締切: 2024年11月15日(金) 正午 (日本時間)
- ・ [HU SPRING研究支援プログラム令和6年度募集について](#)

● 世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム

次世代フェロー等が、国内外のトップレベルの研究機関において、学外の優れた研究者とともに一定期間研究を行うことを支援するプログラムです。

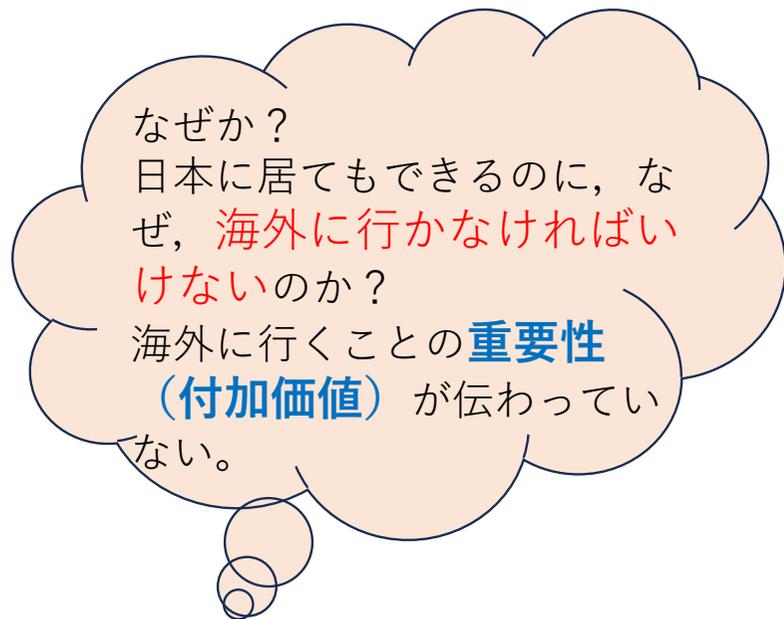
【2024年度募集】

- * **第1回(募集は終了しました)**
- ・ 採用予定数: 20件程度
- ・ 助成金額: 1件あたり 上限100万円程度
- ・ [世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム令和6年度第1回募集要項](#)

● 留学生向け日本語教育プログラム

留学生フェローの日本語能力を向上させるプログラムを提供することにより、日本企業に就職しやすくなるよう支援を行い、キャリアパスの選択肢を広げることを目的としたプログラムです。また、在学中に一定程度の日本語能力を有することで、母国に帰国した場合も日本との橋渡し役を果たすことも期待しています。

[English >](#)



しかし、日本人学生の応募者は少ない

● 世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム

次世代フェロー等が、国内外のトップレベルの研究機関において、学外の優れた研究者とともに一定期間研究を行うことを支援するプログラムです。

【2024年度募集】

- * **第1回(募集は終了しました)**
- ・ 採用予定数: 20件程度
- ・ 助成金額: 1件あたり 上限100万円程度
- ・ [世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム令和6年度第1回募集要項](#)

◆広島大学若手教員海外派遣プログラム「HU Global-TOBU!」

本学の優秀な若手教員を海外の教育研究機関に派遣することにより、若手教員の教育研究能力の向上を図るとともに、広島大学を中心とした研究者間の国際ネットワークの拡大に資することを目的とする。

【募集対象】：DRまたは満40歳未満の本学の教員（特任教員、寄附講座教員、共同研究講座教員を除く）

【派遣期間】：2か月以上

【支援内容】：渡航費（往復）および滞在費（1名あたり上限200万円）、派遣者が所属する部局等に派遣者1名あたり100万円（上限）の支援経費

【派遣予定人数】：10名程度

とはいっても、教育、研究で忙しく、なかなか若手教員がまとまった期間、海外に行くのが難しい。

日本に居ても最先端の研究ができるのに、海外に行くメリットが伝わっていない。

50, 60代の教員は，文科省の在外研究員制度により，**助手時代に順番で1年程度の留学チャンス**があった。



1999年 広島大学生物生産学部助手

2003年 博士号修得 (山口大学連合大学院獣医学研究科, 博士 (獣医学))

2004年～文部科学省海外先進教育研究プログラムにより米国Baylor College of Medicine客員研究員

2006年～ 広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授

2017年～ 広島大学 教授

2019年～ 広島大学 Distinguished Professor (DP) 特に優れた研究を行う教授職

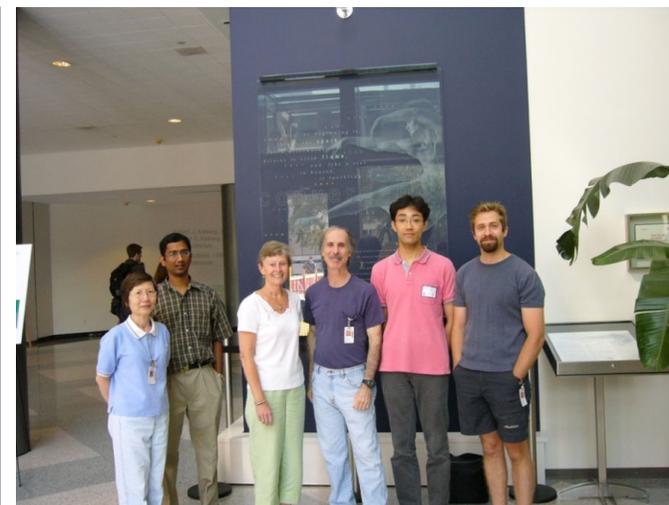
2019年～ Bill & Melinda Gates Foundationから270万ドルの研究資金

2022年～ 広島大学生物生産学部 学部長, 2024年～SPRING事業統括教員, J-PEAKSリエゾンなど

渡米前は，小さな研究室の若手研究(B)がようやく採択されるIF3.0ほどの学術誌に何とか論文が掲載される研究者

帰国後は，20年間にわたって米国Baylor College of MedicineのRichards教授と共同研究を実施 (NIHグラントの協力研究者) し，若手研究 (A)，基盤研究 (A) などを獲得し，*Science*, *Sci. Adv*, *Nature Protocols*などに論文を発表

外国人研究員，留学生13名を含む28名が所属するラボを主催し，海外企業，海外大学と共同研究を実施



研究室の国際化

Richards教授の下で学位取得した島田の姉弟子

准教授（助教の期間で学振海外研究員として、アデレード大学Robker教授の研究室に留学）

生物生産学部では、ほとんどの講義をオムニバスで開講、オンデマンド配信可能、同制度を利用して他2名の助教も長期海外出張

特任助教（JSPS特別研究員（PD）, 4月以降, フランスIMV社との国際産学共同研究で長期渡航予定）

大学院生

- ゲイツ財団によるケニア政府との共同研究に参画予定
- ゲイツ財団によるインド企業との共同研究に参画
- オランダ企業との共同研究に参画
- インドネシア政府派遣学生
- バングラディッシュ政府派遣学生
- JICA奨学金（ナイジェリア, モザンビーク）



アフリカ, 南アジア, 東南アジア

技術提供
実証試験



受け入れ



広島大学（島田研究室）

研究費・受け入れ



欧米諸国

派遣・共同研究



1つ1つのプロジェクト型国際拠点形成
（日本がグローバルサウスと欧米諸国をつなぐハブになる）

J-PEAKS重点拠点+特色ある研究分野を中心として、既存教員の持つ国際ネットワークを次世代へ継承

広島大学を
人材養成と
研究・開発
の国際ハブ
拠点へ

広島大学のあるべき姿の実現

広島大学の機能拡張



広島大校長 越智 光夫

President 5 Initiatives for Peace Sciences —新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」)—

1 イノベーションと経済安全保障に 貢献するための半導体エコシステム形成

Innovation and Economic Security through Formation of Semiconductor Ecosystem

半導体、新材料、製造技術、生体医歯工学、高度人材育成、経済安全保障

2 ワクチン、医薬品開発、再生医療、 細胞治療を通じた地球規模の 健康安全保障への貢献

Global Public Health Security through Vaccine and Drug Development, Regenerative Medicine and Cell Therapy

ワクチン、再生医療、細胞治療、医薬品、核酸医薬、新型コロナウイルス、GMP教育、高度人材育成、経済安全保障

3 平和のための総合的な放射線災害管理

Peace through Comprehensive Radiation Disaster Management

放射線災害・医科学研究、被ばく医療開発、被ばく医療体制、社会安全、被ばく医療歴史学

4 海洋・海事のガバナンスと 持続可能性のためのアジア拠点形成

Ocean and Maritime Governance and Sustainability through Asian Center of Excellence

海洋、海事、環境、海洋資源、SDGs、ブルーカーボン、工学、国際法、経済安全保障

5 途上国の栄養改善に資する 畜産業改革による食料安全保障

Food Security through Livestock Industry Reforms to Improve Nutrition in the South

食料安全保障、地球環境変動、スマート農業、次世代の緑の革命、環境負荷低減、再生可能エネルギーの創出、カーボンニュートラル、開発経済学、公共政策学

連携協働



人文・社会科学系の
更なる深化と連携・協働

倫理
行動科学
安全保障
標準化

強化

既存事業

持続可能性に寄与する
キラルノット超物質拠点
(WPI)

バイオDX産学共創拠点
(COI-NEXT)

Town & Gown 構想

スタートアップ・エコシステム
(Peace & Science
Innovation Ecosystem)

広島大学が躍動し広島の地を
活性化させる基金事業
(75+75周年事業)

広島大学
海外共創プラットフォーム構想
(インドネシアチャプター)

持続可能な発展を導く科学を
実践する
世界トップクラスの教育研究拠点を構築

平和を希求しチャレンジする国際的教養人の育成

大学 改革

制度改革

- 大学の機能拡張実現に資する各種学内制度の最適化(人事制度、予算、広報、国際等)

学内組織の 連携強化

- 時空の制約を超えたグローバルキャンパス
- 教育研究組織等(12学部、4研究科、1研究院、TGO、各センターなど)、病院、附属学校